

令和元年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会



川崎天然ガス発電株式会社
川崎天然ガス発電所

川崎天然ガス発電株式会社 川崎天然ガス発電所
令和元年度川崎市環境功労者表彰受賞事業所

市民100万本植樹運動

川崎市中原平和公園植樹祭 令和元年10月26日(土)開催

川崎市は、平成22(2010)年度から、令和6(2024)年の市制100周年に向けて、市民・事業者と協働して市内に100万本の植樹を進める「市民100万本植樹運動」を推進しています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」では、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

令和元年度は、中原区の川崎市中原平和公園で植樹祭を開催いたしました。当日は、約100名の市民・関係者が参加し、テルテモモ、サルスベリ、オタフクナンテン、ヤマアジサイ、ジンチョウゲの苗木を405本植樹しました。



100万本 植樹達成！

令和元年12月に目標を達成しました。

川崎市は、市制100周年に向け、植樹運動を継続しますので、引き続き皆様の御協力をお願いいたします。

目次

会長あいさつ	日本電気株式会社 玉川事業場地区責任者	野田 謙一	1
市長あいさつ	川崎市長	福田 紀彦	2
事業所の取組			
	昭和電工株式会社 川崎事業所		3
	株式会社東芝 小向事業所		4
川崎市みどりの事業所推進協議会の活動（令和元年度）			5
幹事会の記録（令和元年度）			9
川崎市からのお知らせ			10





持続可能な社会をめざして

川崎市みどりの事業所推進協議会

会 長 野 田 謙 一

(日本電気株式会社 玉川事業場地区責任者)

平素より、「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策のため、人と人の接触を減らして社会機能を維持していくことに多くの方が戸惑いながらも克服に向けて努力を重ねていることと存じます。

東京2020オリンピック・パラリンピックも開催を1年延期することが決定されましたが、「環境を優先する2020年東京大会」「Be better, together /より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトに「環境」と「持続可能性」が重要な理念のひとつとして準備が進められております。

地球環境は、企業が事業を継続していく上で不可欠な基盤であり、環境持続のためには企業も積極的に関わっていく責任があります。この「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動も、持続可能な社会を構築していく一端を担うものと考えています。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、1972年に「川崎市工場緑化推進協議会」として設置され、2005年には、より広範囲の事業所への協働参加を目指し「川崎市みどりの事業所推進協議会」と改めて現在に至っています。川崎市と事業所の官民が一体になり、協働で緑化活動と緑化意識の向上に取り組んでいます。緑化協定締結事業所の緑化率は、発足当時3.6パーセントでしたが、現在では10パーセントを超え、緑化地の面積は約152ヘクタールを確保しています。

また、川崎市が進められている活動のひとつに「市民100万本植樹運動」があります。これは市制100周年を迎える2024年度までに、市民、事業者、行政の協働により、市域に100万本の植樹を目指すものです。この活動が皆さまの御協力もあり、目標を5年も前倒して2019年12月に100万本を達成いたしましたことは当協議会としましても大変喜ばしいことです。引き続き市と連携し、より良いまちづくりに皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。

今後も、「最幸のまち かわさき」を目指し、緑豊かな地域づくりを推進するべく会員相互の連携・親睦を深める活動を進めてまいりますので、皆様の積極的な御参加と関係各位の御指導、御支援をよろしくお願い申し上げます。



「最幸のまち かわさき」をめざして

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症による不自由な日常や経済的な影響が広がる中で、大変御心配をされていることと思います。本市では「川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、関係機関とも連携しながら対策に取り組んでいます。事業者の皆様にもさまざまなお願いをさせていただいておりますが、早期の終息に向けて一致団結して、対策に取り組んでいただくよう、お願い申し上げます。

さて、近年、令和元年東日本台風による被害をはじめとする水害等の大規模化や夏の猛暑など、地球環境は危機的な状況にあると認識しております。本市は、これまでも環境先進都市として、持続可能なまちづくりをめざし、市民や事業者の皆様とともに、他都市に先駆けてさまざまな取組を進めてまいりました。

なかでも、緑と水の豊かな環境をつくる取組として、緑の創出と育成につきましては、市民や事業者の皆様との協働により、「市民１００万本植樹運動」の取組を進めてまいりましたが、昨年１２月に目標を達成することができました。「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様には、目標の達成に至るまで、ひとかたならぬ御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和６年度に迎える市制１００周年に向けましては、こうした取組をさらに進め、本市のこれまでの１００年を振り返り、次の１００年により豊かな環境をつないでいくため、都市における新たな緑の価値の創造と、多様な主体による緑の都市づくりをめざすとともに、「全国都市緑化フェア」の開催に向けた取組を進めております。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、事業所の緑化を推進していただくことにより、地域における緑化に大きな役割を果たすだけでなく、野鳥や昆虫などの生息空間の創出により、生物多様性にも大いに貢献していただいているところでございます。

今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

昭和電工(株)川崎事業所は、昭和5年(1930年)、昭和電工の前身である昭和肥料(株)川崎工場として設立しました。設立当時はアンモニアと硫安を生産・販売していました。

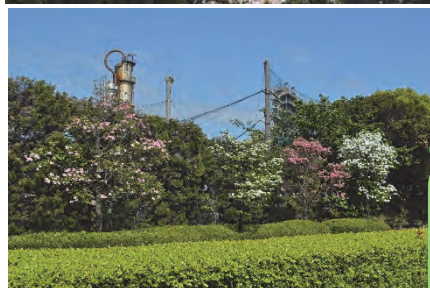


現在では、有機・無機化学品分野の製品開発・製造の長い伝統と川崎地区の立地を活かし、多種多様な製品を生産・販売しています。また、使用済みプラスチックのケミカルリサイクルを日本最大規模で事業化、推進しています。

生産拠点は、扇町・大川町・千鳥町の三地区にまたがっており、三地区の総敷地面積は約57万㎡になります。

緑化の取組み

三地区の緑化率は、令和元年度時点で8.33%となっています。敷地内には桜やツツジ、楠木、サザンカなど、様々な樹木が植えられており、鮮やかな緑、色とりどりの花々、紅葉、と季節ごとに事業所内で働く人の目を楽しませてくれています。また、スズメ、鳩、鷺、ムクドリ、オナガなど多くの野鳥の憩いの場になっています。



TOPICS

～みどりのカーテン～

3地区でゴーヤの苗を植栽しました。毎日のお世話を通じて、交流の輪も広がりました。



TOPICS

～伝十郎桃～

川崎市から寄贈された、川崎区大島発祥の「伝十郎桃」の実がなり、収穫祭を行いました。

CSR活動

様々な活動を通じて、地域社会や環境保全へ貢献しています。

見学の受入・実験教室

納涼祭の開催

田島統一クリーンデイ参加

アルミ缶リサイクル・寄付



使用済みプラスチック原料化事業の見学を随時受け入れています。子供向け実験教室も行っています。



町内会・地域の皆様とのコミュニケーションを大切にしています。毎年7月に川崎球場にて開催する納涼祭には、町内会や地域の方にもご参加いただいています。



田島統一クリーンデイに参加しています。地域の皆様と共に、事業所周辺のゴミ拾いや除草を行っています。



2002年度より、事業所内で分別回収したアルミ缶をリサイクル業者へ売却し、売却金を寄付する活動を行っています。2019年度は川崎市健康福祉局へ寄付を行いました。

◎事業所紹介



小向事業所全景

緑豊かな多摩川に臨み、住宅地に囲まれています。

東芝小向事業所内には、東芝インフラシステムズ 小向事業所（1973 年設立）、東芝研究開発センター（1961 年設立）、東芝デバイス&ストレージ小向分室（1958 年設立）の 3 つの事業所があり、敷地面積は約 20 万 m²、緑化率は約 13%となっています。

それぞれ、気象レーダーなどの電波応用機器、郵便区分機などの自動化機器等の設計・開発・製造を担う「社会インフラ部門」、東芝全事業に関わる先行研究・基盤技術の開発を担う「先端研究開発部門」、半導体設計・開発を担う「電子デバイス部門」となります。

多摩川が近く、周囲を住宅地に囲まれた環境で操業しています。



◎緑化の取組

事業所内では、緑化の維持・確保を進めており、構内には桜やクスノキ、イチョウ等の様々な樹木が植栽されています。

2011 年度から省エネ活動の一環としてゴーヤなどの植物で緑のカーテンを実施、従業員も苗植えや収穫に参加するイベントを行っています。

生物多様性保全活動も積極的に推進しており、蝶の食草を植えるなどの施策を行い、周辺地域の緑地といきものが自由に行き来できる「生態系ネットワークの構築」を目指しています。また、事業所内の自然観察も定期的を実施し、事業所にも様々ないきものが飛来してくることを確認しています。



緑のカーテン収穫祭



事業所内で観察された動植物

左からジャコウアゲハ、タチツボスミレ、メジロ



コムくんとカイくん

さらに、2019 年度には、敷地内の緑地の除草として、ヤギを試験的に導入しました。ふれあいイベントなどもあり、除草の効果だけではなく、従業員からも癒し効果があるなどと、大変好評でした。

川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(令和元年度)

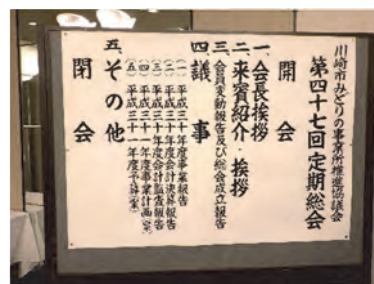
4月19日(金)

第47回定期総会・講演会

参加者 28事業所34名

場 所 川崎日航ホテル

【定期総会】

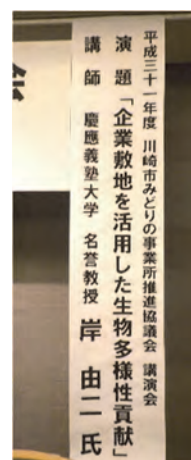


【講演会】

演題「企業敷地を活用した生物多様性貢献」

講師 慶應義塾大学名誉教授 岸 由二 氏

(特定非営利活動法人 鶴見川流域ネットワーキング 代表理事)



6月4日（火）

川崎市環境功労者表彰式

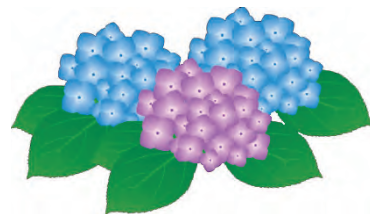


表彰事業所 川崎天然ガス発電株式会社 川崎天然ガス発電所
部 門 緑の保全及び緑化の推進
場 所 川崎市役所第4庁舎ホール

◎事業所紹介

平成22年に川崎市と「川崎市みどりの事業所の推進に関する協定」を締結した当初から、敷地面積61,555㎡のうち、川崎市みどりの事業所推進協議会の工場敷地の緑化努力目標である10%を大きく上回る23.43%の緑化面積（14,422㎡）を確保されており、現在も維持管理に努められています。

緑豊かな地域での更なる社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努め、コチドリの営巣地としての砂れき地を整備するなど、環境に配慮する取組を進められています。

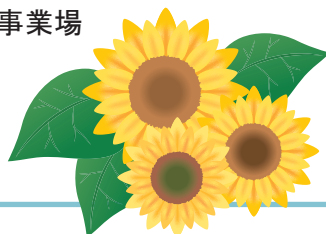


8月28日（水）

幹事事業所施設見学会

施設見学会をより参加しやすいものとするための試みとして、幹事事業所に御協力をいただき、第2回幹事会との同時開催による施設見学会を実施しました。

訪問場所 日本電気株式会社 玉川事業場
参加者 16事業所 19名



10月8日（火）

施設見学会

事業所緑化の優良施設を見学し、緑化に対する意識の高揚や、緑化推進への動機付けを図ることを目的として、施設見学会を実施しています。令和元年度は、川崎市近郊の事業所の中から見学先を決定しました。

訪問場所 キリンビール株式会社 横浜工場

（平成30年度 （一財）日本緑化センター会長賞表彰受賞）

参加者 15事業所 21名



◎参加した皆さんの感想

- ・場所や時期の設定がよかった。
- ・見学時間内で意見交換会があると、より情報交流の場となるのではないかな。
- ・今回のような近場であれば半日の行程でもよいが、見学先が限定されてきてしまうと思う。



10月（都市緑化月間）

緑化啓発グッズ配付

配付植物 「サクラ（苗木）」又は「ドラセナ」※選択制

【ドラセナ（観葉植物）】

原産地 アジア、アフリカ

特徴 熱帯地域を原産地とする常緑性の植物で、多くの品種が存在し、葉の形状や色等も異なる。



ドラセナ

11月28日(木)

講習会

花や緑に親しむことを目的として、寄せ植えづくりなど講習会を開催していますが、令和元年度は新たな試みとして、ハーバリウムづくりを実施しました。

場 所 川崎市総合自治会館

演 題 「ハーバリウムづくり」

講 師 株式会社泉樹園 代表取締役 手塚賀久氏

参加人数 13事業所 18名



最優秀作品
(株)NUC 愛澤さん



◎参加した皆さんの感想

- ・ハーバリウムづくりは初めてだったが、楽しく体験できた。
- ・他の方とも交流ができて、いい時間だった。
- ・持ち帰りが楽でよかった。



優秀作品
昭和電工(株) 川崎事業所 宮嶋さん



優秀作品
(株)東芝 小向事業所 佐谷さん

3月

広報活動

機 関 紙 「事業所緑化《令和元年度活動記録》」

発行年月 令和2年3月

発行部数 150部

配布先 会員事業所ほか



幹事会の記録(令和元年度)

第 1 回 幹事会

令和元年 5 月 28 日 (火)
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室 2

- 1 令和元年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
- 2 令和元年度施設見学会について
- 3 (公財) かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について
- 4 第 2 回幹事会の日程について
- 5 講習会の日程について

第 2 回 幹事会

令和元年 8 月 28 日 (水)
日本電気株式会社 玉川事業場

- 1 令和元年度施設見学会について
- 2 令和元年度講習会の開催について
- 3 都市緑化月間における緑化啓発グッズの配付について
- 4 令和元年度「市民 100 万本植樹運動」植樹祭への協力について
- 5 第 3 回幹事会の日程について
- 6 第 48 回定期総会の日程について

第 3 回 幹事会

令和 2 年 1 月 24 日 (金)
ミューザ川崎シンフォニーホール会議室 3

- 1 第 48 回定期総会について
- 2 令和 2 年度講演会について
- 3 令和元年度機関紙「事業所緑化」の作成について
- 4 令和元年度施設見学会実施報告について
- 5 令和元年度講習会実施報告について
- 6 令和元年度予算執行状況報告について
- 7 「市民 100 万本植樹運動」達成記念植樹祭への協力について
- 8 第 4 回幹事会の日程について

第 4 回 幹事会

令和 2 年 3 月
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面開催

- 1 第 48 回定期総会の開催について

川崎市からのお知らせ

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されております。

現在、下表のとおり保管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

保管理活動地区	締結先企業等
栗木山王山特別緑地保全地区 (麻生区栗木:2.0ha)	富士通株式会社川崎工場
久末東特別緑地保全地区 (高津区久末:0.8ha)	NECプラットフォームズ株式会社、他
王禅寺東特別緑地保全地区 (麻生区王禅寺東:0.9ha)	川崎信用金庫
岡上丸山特別緑地保全地区 (麻生区岡上:1.3ha)	岡上小学校及び和光大学
久末イノ木特別緑地保全地区 (高津区久末:0.9ha)	日本ロレアル株式会社



屋上緑化・壁面緑化助成事業

屋上緑化

- 1 助成基準 樹木、芝等により、建築物の屋上を3㎡以上緑化するもの
- 2 助成対象経費 植物及び植物基盤材（土壌等）の購入経費、防水、灌水、排水設備の設備費等
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡あたり1万円、1件あたり100万円を限度。

壁面緑化

- 1 助成基準 つる性植物等により、建築物の壁面を幅5m以上、又は面積3㎡以上緑化するもの（ゴーヤなどの一年草は対象外）
- 2 助成対象経費 つる性植物等、支え材等資材の購入経費
- 3 助成金額 要した費用の2分の1に相当する金額
ただし、1㎡または1mあたり1万円、1件あたり50万円を限度

※工事開始後の申請は対象外です。詳細は事務局までお問い合わせください。



公共のみどり助成制度

不特定多数の人々の目に触れ、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成する事業です。

助成額は、基本助成額（緑化面積に応じて2万円～5万円）＋30円/㎡です。制度の詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。



平成30年度事業所緑化データ

協定締結事業所 65事業所 緑化率 11.0%（昭和47年発足時3.6%）

緑化面積 151.9ha



緑化率10%以上達成事業所

10%台	24事業所
20%台	12事業所
30%台	4事業所

編集後記



川崎市中原平和公園での植樹祭



達成記念植樹祭にて配布予定だった花苗

令和元年度も「市民100万本植樹運動植樹祭」をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとうございました。令和元年12月には、皆様の御協力により、目標である100万本の植樹を達成することができました。ここに改めて御礼を申し上げます。令和2年3月に開催を予定しておりました「市民100万本植樹運動達成記念植樹祭」は、残念ながら延期となりましたが、植樹運動は今後も継続してまいりますので、引き続きの御協力をお願いいたします。

協議会の活動についても、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されますが、実施内容の検討・充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

発行日 令和2年3月

発行 川崎市みどりの事業所推進協議会
（川崎市建設緑政局緑政部みどりの協働推進課内）

電話 044-200-2380

川崎市緑化基金

川崎市内の「**緑**」を**守り・育て・増やす**ために
基金への御協力をお願いします！



- 緑地保全の奨励
- 保全緑地の管理計画づくり



- 市民緑化運動の推進
(市民植樹運動や、思い出記念樹配布)

皆様からいただいた寄附金は
基金として活用し、
民有地を含む都市緑化に
役立てられています。

みなさまの御協力
をお願いします。

- 緑の活動団体助成
- 生垣づくり助成
- 駐車場緑化助成



- 屋上・壁面緑化の助成
- 緑のカーテン



基金への寄附と 税の控除について

法人の場合

確定申告によって、寄附された金額を
法人税法(第37条)の規定により、
損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
みどりの協働推進課

電話(044)200-2380 FAX(044)200-3973

(公財)川崎市公園緑地協会
(各種助成などの手続)

電話(044)711-6631 FAX(044)722-8410

昭和電工株式会社 川崎事業所



株式会社東芝 小向事業所

